



# 林 声

2014



月号

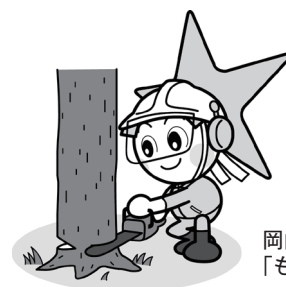


平成25年1月に備前市立片上認定こども園が完成しました。スギ・ヒノキなどの木材が約80㎡使われています。特に内装にふんだんに使用されており、園児達はもちろんのこと、先生方も木材の優しい色合い、肌触りなどに心が癒やされているようです。

【施設概要】 延床面積325.78㎡ 木材使用量82.92㎡ 木造平屋建

## 目 次

新年あいさつ .....	2	間伐推進について、お知らせ .....	10
普及情報（井笠支部） .....	3	技能講習会、イベント情報 .....	11
これからの道づくり②（応用編） .....	4	林産物市況 .....	12
普及情報（新見支部） .....	6		
森林研究所コラム .....	7		
車両系林業機械の安全対策について .....	8		
インタビュー（中国からの技術研修員） .....	9		



岡山県マスコット  
「ももっち」

# 新年のごあいさつ



岡山県林業  
改良普及協会  
会長  
井手 紘一郎

新年あけましておめでとうござ  
います。

会員の皆様には、輝かしい新春  
をお迎えのこととお慶び申し上げ  
ます。

平素から本協会の運営につきま  
しては、格別のご支援、ご協力を  
賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、東京オリンピック開催  
決定や富士山の世界遺産登録など  
の明るいニュースが聞かれました。

一方では、大型台風や竜巻によ  
る甚大な被害が各地で発生し、自  
然の猛威を改めて感じております。  
被災された方々に心よりお見舞い  
申し上げます。

また、平成25年の国の経済対策  
等により、本格的な景気回復に期  
待が高まった一年でありました。  
林業分野におきましては、森林整  
備加速化林業再生事業による大型  
補正予算措置や木材利用ポイント

制度の実施などにより、国産材利  
用拡大施策が積極的に推進されま  
した。こうしたことから急速な木  
材需要の増加がみられ、秋以降に  
は原木価格が上昇しております。  
国産材率を一層高めるためにも、  
作業道等路網整備や高性能林業機  
械の導入、木材の加工流通体制の  
整備を通じた原木の安定供給が強  
く求められております。

こうした中、岡山県では、森林  
保全事業のさらなる推進のため、  
平成16年度に導入された「おかや  
ま森づくり県民税」の課税期間の  
延長が決定されました。森林に対  
する県民の多様な要請にこたえるた  
め、間伐の継続的な実施や再造林  
による人工林の若返り化、担い手  
の確保や県産材の利用促進などの  
施策の拡充を期待しているところ  
であります。

さて、岡山県林業改良普及協会  
では、会員の皆さまのご協力を頂  
きながら、昨年は、全国林業研究  
グループ連絡協議会事業を活用し、  
次代を担う大学生の間伐体験や子  
どもたちに森林・林業の体験教室  
を実施する県内林研グループの活  
動を支援してまいりました。

特に、7月に本県で開催した中

国・四国ブロック林業研究グルー  
プコンクールでは、多方面の御協  
力を賜り、県内外から林研グルー  
プの皆様を多数お招きして、盛大  
に開催することが出来ました。日  
頃の活動成果の発表、情報交換や  
相互交流で得られた成果がそれぞ  
れのグループにおける今後の活動  
に活かされることと存じます。

本協会としまして、県・市町村・  
林業事業者など関係者間の連携を  
図りながら、本県の林業経営の改  
良と林業技術の普及を図り、林業  
の振興に寄与してまいります。

会員の皆さまの一層のご支援、  
ご協力をお願いいたしますととも  
に、それぞれの分野でますますの  
ご活躍をお祈り申し上げます。新年の  
ごあいさつとさせていただきます。



## 木材共販日のご案内 岡山県森林組合連合会



# 謹賀新年

本年もお引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

- 1/10 初市  
(金) <勝山・津山共販所>
- 1/11 初市  
(土) <新見共販所>
- 2/21 久米郡森林組合林業祭  
(金) <津山共販所>

◆各共販所とも多くの出材をお待ちしております





石井さん作業風景

普及情報  
原木しいたけ栽培に取り  
組む新規参入者  
井笠普及指導区



○はじめに  
食の安全やメニューの適正表示が求められる中、原木にこだわりたいだけ栽培に新規参入された方がいます。笠岡湾干拓地に入植されて3年目になる石井政樹さん(40歳)に、きのこ栽培にかける思いを伺いました。



ビニルハウス

○原木しいたけ栽培に新規参入したきっかけは？  
当時勤めていた会社の先輩が山林を所有していて、そこで得られる素材で事業化できないか検討していたところ、家庭用のしいたけ栽培キットをネット販売する企画が持ち上がりました。

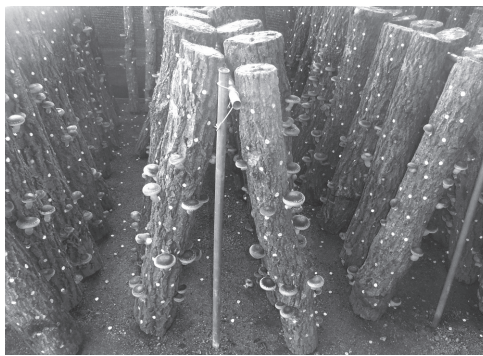
この時、商品化に向けて福山市内の原木しいたけ生産者に協力をお願いし、様々な作業を体験しているうち、自ら原木しいたけ栽培に取り組むことになりました。

○現在の生産規模と工夫されていることは？  
ほだ木の本数は約8,000本、そのうち前年に発生させたほだ木

は、加温用の燃料にしています。病害虫予防のためにも早めの処分を心がけています。

発生用のビニルハウスは中古のものを確保、加温施設は鉄工所に頼んでドラム缶を加工したものを使っています。

作業は基本的に私と家内の2人体制で行っています。



発生状況

○木しいたけを生産する上で、こだわっている点は？  
原木は一般的なコナラ、クヌギ

ではなくアバマキを使用しています。風の強い干拓地で、暑さや寒さを克服するために断熱に優れた厚い樹皮が必要となるためです。

食の安全安心の意識が高まって

いる中、独自に放射能の検査も実施済です。

笠岡市の学校給食に地元食材として使ってもらいたいのです。

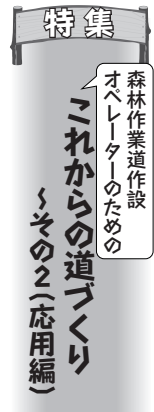
○これまでをふりかえって

原木しいたけの栽培技術が確立されていたこと、地産地消の世の中になっていくこと、干拓地内で地主さんの土地をお借りできたこと、同じ干拓地内に道の駅がオープンしたこと、福山市や岡山市内の先輩生産者、笠岡市を始めとする行政、種菌メーカー、スーパー・直売所の担当者の方など、周りからのアドバイスやバックアップを受けられたことは、本当に運がよかったと思います。お世話になっている皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

○おわりに

井笠普及指導区の貴重な新規参入者として、今後も支援していきたいと考えています。

(林業普及指導員 田中康敬)



一 地域の地形や土質に応じた道づくり

日本の地形や地質・土質は複雑であり、また、気象条件も豪雨や豪雪、台風など各地域で様々です。

森林作業道の作設においても、画一的な作設方法だけではなく、地域の地形や地質、土質に応じて、様々な創意工夫をしながら施工することがきわめて大切です。

岡山県に見られる特徴的な土質として、県北部県境付近の火山灰の上部に腐植層が集積した「黒ぼく土」や県下各地にある花崗岩が風化したマサ土、県中部の赤土等による「粘性土」があります。

このような土質では、その1(入門編)で説明した路体の構築が難しく、土圧に対応した応用土工が必要になります。

ア 黒ぼく土、マサ土

黒ぼく土やマサ土等のように粘性の低い土質では、重機による締め固めは難しく、雨天時には土砂が流れてしまいます。そこで、上層

と下層部分の土を入れ替える「天地返し」を行うか、両者を「攪拌」して路体を構築します。それでも困難な場合は、採石等を敷き込む必要があります。

イ 粘性土

粘性土は乾燥すると堅固ですが、雨天時には軟弱となり、車両等が滑る危険性があります。

対応策としては、路面に丸太を格子状に組んだり(図-1)、平行に並べて置くことで、路面の安定を図ることができます。

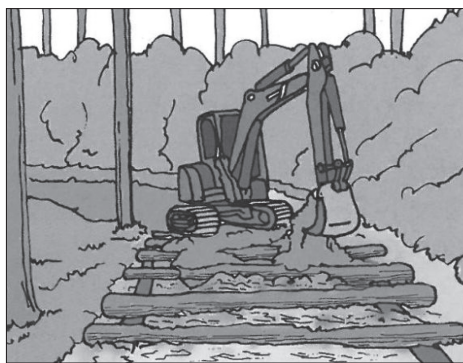


図-1 軟弱地での丸太による路面処理

二 表土を使って盛土法面の緑化を促進

盛土法面の緑化を促進するため、剥ぎ取った表土(A0層、A層)を利用した施工方法があります。

この方法は有機物や種子を含んだ表土を盛土法面に利用することにより、早期の緑化を図るもので、心土(表土の下にある土の層)を30cm程度盛り立てて締め固めを行い、その上に表土を盛土法面側(外側)に出るように載せます。

次に心土(30cm程度)をその内側に載せ締め固めたのち、表土を載せます。

これを繰り返すことで、盛土法面の表面は表土と心土を交互に積み重ねた状態となり、早期の緑化が期待されます。(図-2)

また、剥ぎ取った表土を盛土法面に直接張り付けるのも一つの方法です。

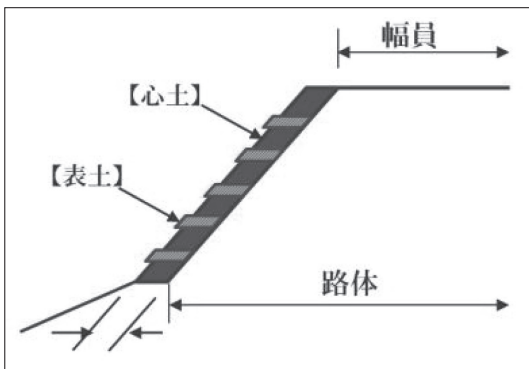


図-2 表土を使った盛土法面緑化

三 根株の利用は適切に行う

通常、道路工事等で発生する根株等は産業廃棄物となりますが、森林保全上、支障の無い状態で自然に還元する場合や建設資材として有効的に利用することは認められています。特に間伐等がされていらない林分では、多くの根株が発生するため、その利用を適切に行う必要があります。

根株の有効的な利用方法としては、盛土流出を防止する目的で盛土法尻の外側に安定した状態で設置します。ただし、この場合、集材作業の際に、根株が転げ落ちないように注意する必要があります。(図-3)

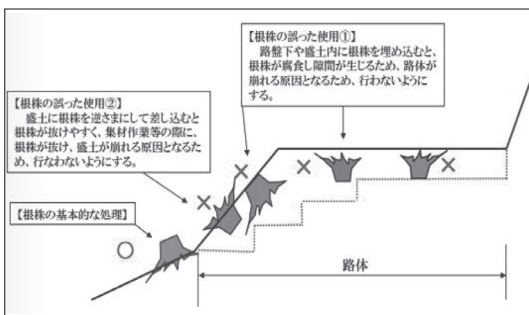


図-3 根株の処理

なお、その1（入門編）で紹介したとおり、根株を路盤下や盛土内に完全に埋め込むと根株が腐植し、隙間が生じて盛土が崩れる原因となるほか、均等な締固めも困難になるので、避けるようにします。（図-3）

このほか、根株の有効的な利用方法として、盛土の浸食を防止するため横断排水施設の水たたきとして利用する方法もあります。

根株の利用にあたっては、知識と経験、技術が必要です。根株の大きさや支持根の伸び、土質の特徴や気象条件等を総合的に判断しながら、堅固な道となるよう利用することが必要です。

#### 四 沢は洗い越しで渡る

一般に林道等が沢を横断するようなどころでは、ヒューム管やコルゲート管などの既製品の暗渠が用いられますが、維持管理が十分に行われないと、洪水の際に流木や根株、石などが暗渠を塞ぎ、濁流が路面にあふれ、崩壊や土石流の原因になる事例が見られます。そこで、丸太や転石等を有効に活用した「洗い越し工」を用いて横断します。（図-4）

洗い越しを作るところは、①溪床勾配が緩いこと、②大きな盛土がないこと、③沢の両側にゆとりがあり、呑口が作りやすいこと、

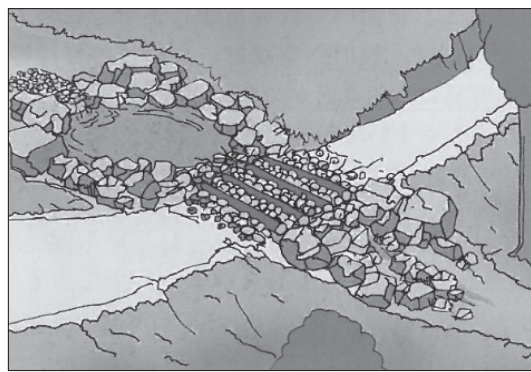


図-4 現地発生材を有効利用

④ 固い岩盤の上であることなどの条件に合致するところを探します。

洗い越しは、沢の流水方向に対して直角に作ります。洗い越しの作設箇所には道の高さまで石や砂利を積み上げるか、石や砂利がないときは、支障木を何本か流れの方向に置いて枝葉を敷き、盛土を行います。増水時には洗い越しの上を水が弱く、広く、浅く流れるようにし、流水による損傷を少なくします。

そして、洗い越しに使用した転

石や丸太を転圧して平らにすることで、車両が通行しやすくします。

なお、洗い越し部分は前後の路面高よりも一段低くし、洗い越しからあふれた沢の水が絶対に道に流入しないようにします。沢の水が路面に流下すると急速に侵食されて、道の崩壊に繋がります。

（図-5）

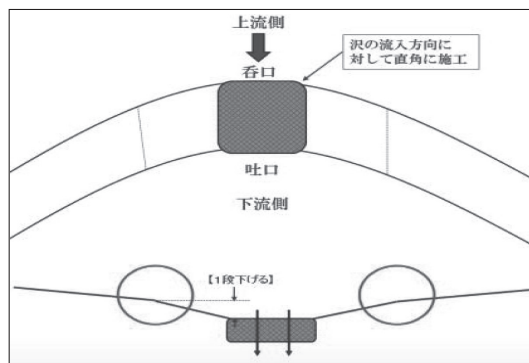


図-5 洗い越し工の設置

また、洗い越しの上流側には、流速を弱めるための池を掘るとともに、吐け口側には、根株や大石、丸太組等の洗掘防止措置を講じます。（図-6）この方法であれば、豪雨後の維持管理を容易にすることができま

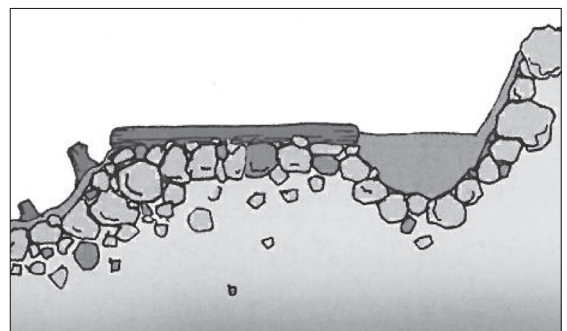


図-6 洗い越し断面

これ以外にも、流量は少ないものの常時流水のある沢などでは、コンクリートで幅の広い皿型の流水路をつけ、その上を通行する洗い越しもあります。

なお、森林作業中は丸太や簡易な木橋等を仮設的に敷設して横断し、森林作業の終了後、しばらく利用しない場合は、丸太等を撤去し、沢を掘り割って終わるのも一つの方法です。

（普及推進課 林業普及推進班）  
（その3に続く）

普及情報

**林研グループによる  
森林・林業体験学習の実施  
新見普及指導区**



今回は新見市新林業経営者クラブが実施した森林・林業体験学習の様子を紹介します。

新見市の千屋地区は岡山県北部、鳥取県境に接した、林業の盛んな地域です。また、新見美しい森が設置されており、森林・林業体験のフィールドとして活用されています。

千屋小学校では、3・4年生を対象として「新見美しい森での体験活動を通して、私たちが暮らす地域の森林の役割や大切さを理解し、森づくりを行っている人たちの努力や工夫に気づく」ことを目的に、毎年、森林・林業体験教室を実施しています。今回の参加者は8人です。

体験学習は、クラブ会員であり、普及指導協力員でもある千屋地区在住の前田忠志さんから、森林・

林業の重要性や林業の役割について説明を聞いた後、美しい森区域内のヒノキ人工林において、手鋸による間伐を体験する方法で進められました。



森林・林業について話す前田さん



手鋸による間伐体験

間伐体験では、1本の木を倒すためには、倒す方向、受け口、追い口の作り方を十分に考えなければならぬこと、手鋸で伐ること、安がどれほど大変かということ、安全に倒すためにはロープで引くなど

どみんなで協力することが必要なことを体験していました。

また、1本の木を伐るだけで、林の中に光が差し込み、地面には土の流れを防ぐ草が生えることに繋がるといった間伐の効果を実感したようでした。

間伐の後は、昼食休憩を挟んで、竹を使ったランタンづくりに挑戦しました。



竹を使ったランタンづくり(作成中)

子どもたちは、林研グループ会員、新見市役所職員、引率の先生、林業普及指導員と一緒に、竹筒に自分たちがデザインした穴を開け、明かりを組み入れてランタンを完成させました。この日はちょうどハロウィン当日でもあり、子どもたちは、ランタンの幻想的な光の魅力に見入っていました。とても楽しい思い出になったと思います。



竹を使ったランタンづくり(完成品)

新見市新林業経営者クラブでは、このほかにも地域での森林・林業教室等の活動に積極的に参加し、子どもたちに森林・林業の重要性を伝える活動が続いています。普及指導区では今後もこのような林研グループの活動を支援していくこととしています。

(林業普及指導員 黒瀬勝雄)



「フェラーバンチャ機能付  
バケットによる森林作業道作設」

森林研究所 林業研究室  
研究員 片桐 智之



図1 フェラーバンチャ機能付バケット

岡山県では、高性能林業機械を用いた作業システムは、車両系システムを中心に行われています。このシステムは高密度な路網が必要になり、森林作業道の作設も重要な作業となります。

一般的に森林作業道の作設は、伐倒手とオペレーターの2人1組で行われています。そのような状況の中、近年、グラップル付バケットに格納式刃物を装備することで、立木の伐倒作業と同時に路網作設およびグラップル作業を1台で行うことのできるフェラーバンチャ

機能付バケットが開発され、1人で作業道を作設することができるようになりました(図1)。

そこで、この機械を用いることで、従来の方法と比較して作業効率をどの程度向上させることができるか、また、この機械の伐倒能力についても調査しましたので報告します。

使用したフェラーバンチャ機能付バケットは、ベースマシンが13トンクラスで、カット最大寸法が30×35<sup>センチ</sup>の能力を有し、油圧の流量が1分あたり120<sup>リットル</sup>あれば、直径35<sup>センチ</sup>のスキを2.3秒で切断することができま

表1 作設効率と作設コスト

	作設距離 (m/日)	労働生産性 (m/人日)	作設コスト (円/m)
フェラーバンチャ機能付バケット	114.4	114.4	606
従来型1人作業	106.5	106.5	611
従来型2人作業	126.8	63.4	694

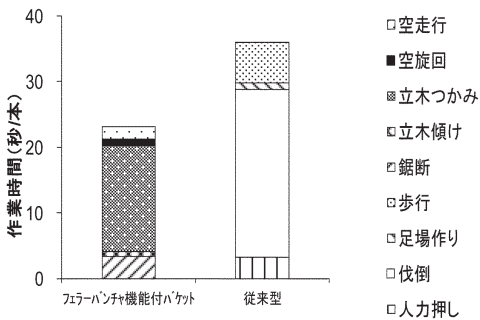


図2 システム別伐倒作業

森林作業道作設効率と作設コストを試算したところ、1日あたりの作設距離、労働生産性、作設コストから、フェラーバンチャ機能付バケットが、従来の方法よりも効率的であることが明らかになりました(表1)。

フェラーバンチャ機能付バケットによる伐倒作業については、チェーンソーと比較して1本あたりの作業時間が短く、効率的でした(図2)。

鋸断能力は、立木の胸高直径が26<sup>センチ</sup>以内であれば、直径に関係なく平均3秒で鋸断できました(図3)。

このように、フェラーバンチャ機能付バケットは作業効率向上に寄与し、コスト低減にも貢献する高性能林業機械であり、また作業特性についても明らかにすることができました。

当研究所では、今後も低コスト作業システムや新しく開発された高性能林業機械について調査研究を行い、広く情報提供することとしています。

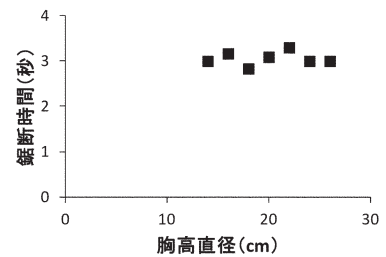


図3 胸高直径と鋸断時間の関係

**車両系林業機械の安全対策について**

近年、林業現場に複数の機能を有する車両系林業機械が急速に導入されています。特に、高性能林業機械、集積用グラップルなどは全国的に普及が進んでおり、今後この傾向が続くものと見込まれています。

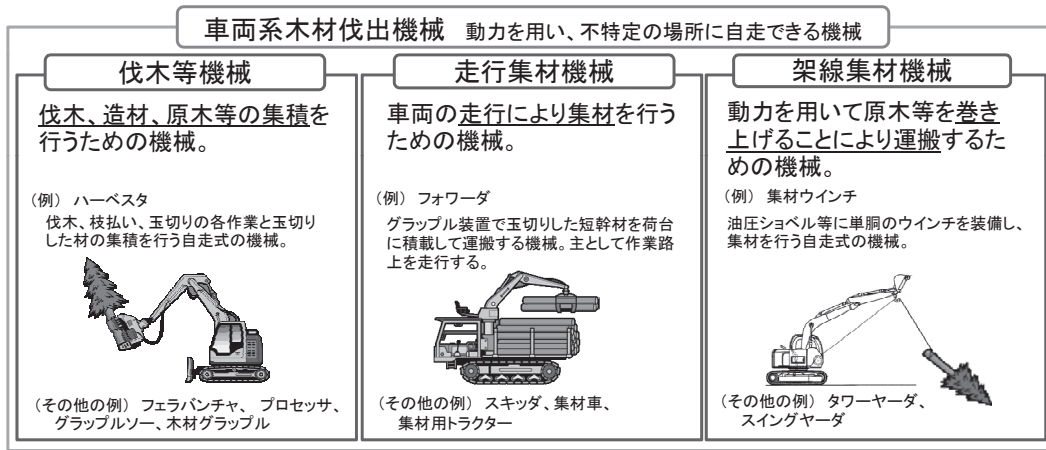
多くの林業現場では、これらの機械を使用して伐木・造材・集材等の作業が行われていますが、同時に死亡災害を含む労働災害が発生しています。

こうしたことから、厚生労働省は、車両系林業機械を使用する作業による労働災害を防止するため、労働安全衛生規則（以下「安衛則」という。）を改正し、平成25年11月29日に公布しました。

これにより、危険防止設備の整備や特別教育の実施が必要となることから、改正内容についてお知らせします。

**一 新たな規制の対象となる車両系林業機械の種類**

車両系林業機械は、新たに「車両系木材伐出機械」と定められ、主な使用目的により、3種類に分類されています。



**① 伐木等機械**

伐木、造材又は原木等の集積を行うための機械（伐木、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積を行う自走式の機械）

**② 走行集材機械**

車両の走行により集材を行うための機械（グラップル装置で玉切りした短幹材を荷台に集積して運搬する機械）

**③ 架線集材機械**

動力を用いて原木等を巻き上げることにより運搬するための機械（油圧シヨベル等に単胴のウインチを装備し、集材を行う自走式の機械）

**二 危険防止設備の整備**

今回の改正により、車両系木材伐出機械には運転者の安全を確保するため、防護柵等の危険防止設備を整備することが義務づけられました。

☆前照灯の設置【安衛則第百五十一条の八十五】

☆ヘッドガードの設置【安衛則第百五十一条の八十六】

☆防護柵等の設置【安衛則第百五十一条の八十七】

なお、本改正は、平成26年6月1日から11月30日を経過措置期間とし、平成26年12月1日から施行

されます。

**三 特別教育の実施**

労働安全衛生法第五十九条第三項の規定により、「事業者は、危険又は有害な業務で、厚生労働省令で定めるものに労働者をつかせるときは、当該業務に関する安全又は衛生のための特別な教育（特別教育）を行わなければならない」とされています。

新たに、「伐木等機械」、「走行集材機械」、「簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育」の3種類が定められ、それぞれ学科教育6時間、実技教育6～8時間が規定されています。

なお、特別教育については平成26年12月1日から適用されます。  
※簡易架線集材・原木等の一部が地面に接した状態で運搬する設備

**四 支援策について**

現在、林野庁等において当該機械の運転席への防護柵等の設置や運転業務従事者に対する特別教育について支援策が検討されており、具体的な支援策の内容については、別途お知らせいたします。

（林政課 普及指導班）



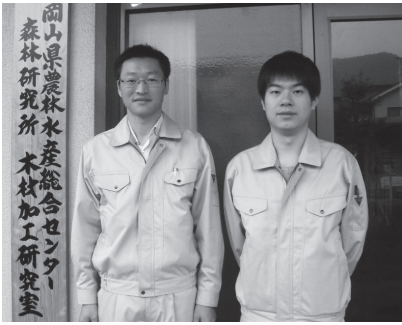
# 歓迎 ようこそ岡山へ！

中国からの技術研修員が来岡！

9月18日から11月29日まで県国際課が受け入れている「海外技術研修員」として、中国江西省から「鄧兆芳（とうちようほう）」さんが来岡されました。10月7日から25日の間、林政課・治山課及び森林研究所で岡山県の森林・林業の行政や研究内容について視察・研修を受けられた機会に、岡山県や研修の感想をお伺いしました。

岡山県の印象は？

環境が良くて空気がきれいで、町もきれいです。人々も親切です。町並みの緑化樹（クスノキ）が江西省と同じなので、親しみがありません。



鄧さん(左)と通訳の龔(きょう)さん

江西省での仕事内容は？

林業庁長秘書をしています。林業庁は、省の林業行政管理部門の役割も含んでいます。県の林政課と治山課を併せたような仕事をしています。

江西省はどんな所ですか？



中国の南東部に位置し、人口約4800万人、土地面積は約16万7千平方キロメートル、そのうち森林面積は約63%です。地形は、岡山県ととてもよく似ています。樹種はスギ（日本の広葉杉）、マツ、クスノキ、ヤマモモが多く、南部でも人工的にユーカリの植栽をしています。また、中国の中でも有数の竹林が多い場所です。

江西省と岡山の森林・林業にどんな違いを感じましたか？

日本は外材が多く木材価格が安いので、山に行かず放置していることが多いと聞きました。江西省の農村部では、木材に頼って生計を立てている人も多く、早いうちに木を切って売ってお金にしたいと考える人もいますが、森林の生

態機能を守るために、林業庁の許可を得ないと木を切ることはできないこととしています。

特に印象に残ったことは？

オペレーター育成研修で体験した高性能林業機械です。江西省では見たことがありません。また、作業道が整備されているのにも驚きました。



ハーベスタの操作を体験

江西省では竹林面積が多いそうですが、特別な政策がありますか？

林業庁としては生態系保全という観点から木は切ってほしくないのですが、これからは竹産業を育てたいと思っています。スギ、マツなどには使用権や伐採制限をかけていますが、竹林にはかけていません。竹は収益性が高いので、人々も竹産業に支援してほしいと思っ



竹製キーボードまで！

としては、例えば、食用タケノコ、床材、家具、工芸品、景勝地の休憩小屋などです。

江西省に帰って、是非役立てたいことは？

岡山の「ヒノキ」を中国に帰って紹介したいです。また、中国の現状を踏まえながら、日本の最先端の森林経営管理技術を参考にしたいと思っています。

岡山県での研修が、今後の江西省での取組みに大いに活かされることと期待します。研修期間中、御協力いただいた関係者の皆様にご場をお借りしてお礼申し上げます。

(林政課 普及指導班  
農林水産総合センター普及推進課)

ています。現在、政府が新しく竹を活用するための政策を作ろうとしています。竹を活用した用途

**山の価値を再発見、  
まずは間伐を！**  
～間伐リーフレットができました～

県では、森林の持つ公益的機能を発揮させるため、平成25年度から5年間で2万7千鈔の間伐実施を計画しています。間伐を行うことで、暗い森に光が入り、災害などにも強い健全な、資産価値の高い森林へと育っていきます。

ところが、地元を離れた森林所有者の増加や木材価格の低迷などにより、間伐等の森林施策に対する関心が低下し、手入れされずに放置されている森林が多く残っているのが現状です。

こうした課題を解決するための一助として、県では森林所有者の皆様向けに新たなリーフレットを作成し、普及啓発に取り組みんでいます。

今回作成したリーフレットは、森林所有者の皆様の疑問に答えるQ&A方式の内容となっており、森林施業の取組が初めての方向けとこれまで取組の経験がある方向けの2種類作成しました。

最近、補助事業の支援を受けるための手続きが難しいとの声をよ

く聞きますが、森林経営計画や間伐特措法に基づく間伐計画の作成が進み、森林所有者の皆様が取り組みやすい環境が整ってきています。是非、このリーフレットをきっかけとして、間伐の実施をご検討ください。

最後に、この紙面では詳しい内容を紹介できませんが、関心のある方は、最寄りの市町村の担当課や森林組合、県民局森林整備課・地域森林課にご相談いただくか、インターネットに接続できる方は、県庁治山課のホームページにも掲載していますので、是非、ご覧頂きたいと思います。

治山課ホームページアドレス  
<http://www.pref.okayama.jp/page/345485.html>

(治山課 造林班)



作成したリーフレット (2種類)

★お知らせ★

**森林研究所「研究成果発表会」  
の開催及び参加者募集**

岡山県農林水産総合センター森林研究所では、これまで取り組んできた研究を県民の方に分かりやすく紹介し、理解と関心を深めていただくため、次の日程で研究成果発表会を開催します。

一 開催日時

平成26年2月17日(月)  
13時30分～15時30分

二 開催場所

岡山市北区芳賀5301  
「テクノサポート岡山」  
大会議室

三 内容

- ・発表課題
- ①岡山県内におけるシカ生息状況の把握について
- ②木質バイオマス搬出作業システムの収支について
- ③木質バイオマス燃料として用いるヒノキ原木の天然乾燥
- ④県産材製品の消費者ニーズの

把握と今後の需要拡大に向けての考察

・ポスターセッション  
森林研究所で実施している、試験研究課題に関するパネル等を展示し職員が解説します。

参加を希望される方は、平成26年2月3日(木)までに森林研究所まで申込をしてください。

【申込先】

〒709-4335  
勝田郡勝央町植月中1001  
森林研究所  
電話 0868-38-3151  
FAX 0868-38-3152  
メール ringyo@pref.okayama.lg.jp

なお、申込の際には住所・氏名・電話番号をお知らせください。



## 技能講習会の開催(1~3月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山 津山	1月30, 31日・3月13, 14日 2月27, 28日	(社)岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け(未経験者対象)	岡山	1月23, 24日・2月6, 7日・ 3月6, 7日	
	玉野 津山	2月17, 18日 2月24, 25日	
移動式クレーン運転士		1月24日・3月4日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661
はい作業主任者	倉敷	2月27, 28日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332

## 森林・林業関係イベント参加募集

開催日時	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
1.19(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾・第165回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL (0866) 62-8614
1.25(土) 9:30~	真備美しい森 (倉敷市真備町市場)	竹林整備・遊歩道整備 (小雨決行)	倉敷地域森づくりの会 TEL (0866) 92-5600
2.1(土) 9:00~	おかやま共生の森・柵原 (久米郡美咲町書副)	保育のつどい (間伐、キノコ食菌)	久米郡森林組合 TEL: 0868-66-0053
2.16(日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾・第166回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL (0866) 62-8614
2.17(月) 13:30~16:00	岡山県庁7F (岡山市北区内山下)	技術職(林業)の岡山県職員仕事 説明・座談会	岡山県人事委員会事務局 TEL (086) 226-7561
2.17(月) 13:30~15:30	テクノサポート岡山 (岡山市北区芳賀)	農林水産総合センター 森林研究 所「研究成果発表会」	農林水産総合センター森林研究所 TEL (0868) 38-3151
2.23(日) 9:30~	酒津財産区区有林 (倉敷市酒津地内)	植樹 (小雨決行)	倉敷地域森づくりの会 TEL (0866) 92-5600
2.21(金) 13:30~16:00	岡山県庁7F (岡山市北区内山下)	技術職(林業)の岡山県職員仕事 説明・座談会	岡山県人事委員会事務局 TEL (086) 226-7561

### 安心と信頼の証を届けます



JQA-QM8203



Pro99

創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。



日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場  
**大久保体育株式会社**

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460  
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153  
■東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-21-3 TEL (03) 3863-0722 FAX (03) 3863-0778

木を通して環境保全に貢献しています

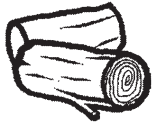


公園修景施設・土木用資材

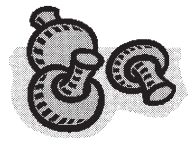
防腐処理・ログハウス・デッキ

**さんもく工業株式会社**

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号  
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130



# 林産物市況



木 材 (12月10日)

単位：千円/m

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り			
杉	3m	14～16	14	-	10.5	檜	3m	14～16	31	-	26.5	-
		18～20	15	-	10.5			-	26.5	-		
		22～24	11	-	7			-	23	-		
	4m	18～22	11.5	-	9.5		4m	14cm	27	-	15	-
		24～28	11.5	-	9.5			16～18	30.5	-	28	-
		6m	18～20	13	-			6	-	27	-	27
松	3m	16～20	13	-	10	-	24～28	29	-	27	-	
	4m	16～20	10	-	8	-	30cm上	23	-	20	-	
・出荷材積 約 2,100 m <sup>3</sup> 記号 △ 強気配 - 横ばい ▼ 弱気配					6m	14cm	25	-	15	-		
(共販所より概況) スギ：4m元木は品薄傾向 ヒノキ：3m～4m品薄傾向 直材の造材をお願いします						16cm	38	-	30	-		
						18～20	38	-	30	-		
						22cm上	25	-	18	-		

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (12月中旬)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値	備考
スギ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	62,000～	
	正角 3m 12cm 角	特等	K	62,000～	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	85,000～90,000	
	正角 3m 12cm 角	特等	K	85,000～90,000	
マツ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一等	K	60,000～65,000	
米マツ	正角 3m, 4m 10.5cm 角	特等	G	54,000～	
	平角 3m, 4m 10.5×15～21cm	特等	G	54,000～55,000	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特等	K	70,000～75,000	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	58,000～	国内挽

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。



## 緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助  
 治山・林道の調査、測量、設計、積算  
 森林整備・森林公園の総合計画

### 一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711  
 津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



緑あふれる環境づくり

**株式会社 山都屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号  
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142  
<http://www.yamatoya-net.com>  
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

優良種菌で確かな収穫

**もりのたねごま**

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 総発売元 **森産業株式会社**

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104  
 TEL 岡山(086)805-7033(代)

**「緑の募金」** ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間  
 春のみどりの月間 4月1日～5月31日  
 秋のみどりの月間 10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ  
 ゆうちょ銀行 01270-0-5225  
 中国銀行岡山駅前支店 1852041  
 トマト銀行岡山駅前支店 1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会  
 岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



**CT-500B** GP-532 小型ハイパワープロセッサ



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

**美津吉商事株式会社**

津山市一方194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255  
<http://www.mitsuyoshi.com/>

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤  
 〔幼令樹保護カバー〕くわんたい  
 〔樹皮食い防止に〕バークガード  
 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット  
 〔クズ専用除草剤〕ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース  
 〔樹幹注入剤〕マッケンジー注入剤  
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社  
 TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所  
 TEL：06-6231-2819

平成二十六年一月一日（第四三三三号）  
（隔月一日発行）

編集 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会  
発行 岡山市北区内山下二一四一六  
〒700-8750

FOREST  
INSURANCE

# 森林 国営保険



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林  
加入期間は？ 1年単位で何年でも！  
保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で7千万円以上の保険金が支払われました。

## ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年  
保険期間…5年 保険金額…最大188万円  
一括払いだと21,225円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年  
保険期間…5年 保険金額…最大299万円  
一括払いだと37,375円（5年間計）

1ヶ月あたり  
約350円



わずか缶ビール  
1本分

1ヶ月あたり  
約620円



わずかラーメン  
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○ご相談は、最寄りの森林組合、県民局（森林整備課）・地域事務所（地域森林課）の窓口へどうぞ。

**岡山県農林水産部治山課** 電話番号 086(226)7455（直通）

## サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用（空中散布・地上散布）ができる

**スミパイン<sup>®</sup> 乳剤・MC**

積れる松枯れ防止用散布剤

**モリエート<sup>®</sup> SC・MC**

ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

**ウッドキング<sup>®</sup> SP**

伐倒木用くん蒸処理剤

**キルパー<sup>®</sup> 40**

伐倒木除菌剤

**パインサイド<sup>®</sup> S油剤D**

樹幹注入剤

**グリーンガード<sup>®</sup> ファミリー**

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ



**サンケイ化学株式会社**

大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 TEL(06)6305-5871

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
<b>グリーンフォーマット</b> 〔切土軟岩用〕	<b>森樹郎マット</b> 〔切土土砂用〕	<b>森樹郎マット21</b> 〔切土土砂用〕	<b>張りウッド</b> 〔盛土用〕	<b>ハリシバモック</b> 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目  
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

太陽と緑の国づくり  
**Nihon 日本植生株式会社**

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256  
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000



この用紙は、日本の森林を育てる  
ために間伐材を積極的に使用して  
います。（間伐材10%+古紙70%）

